

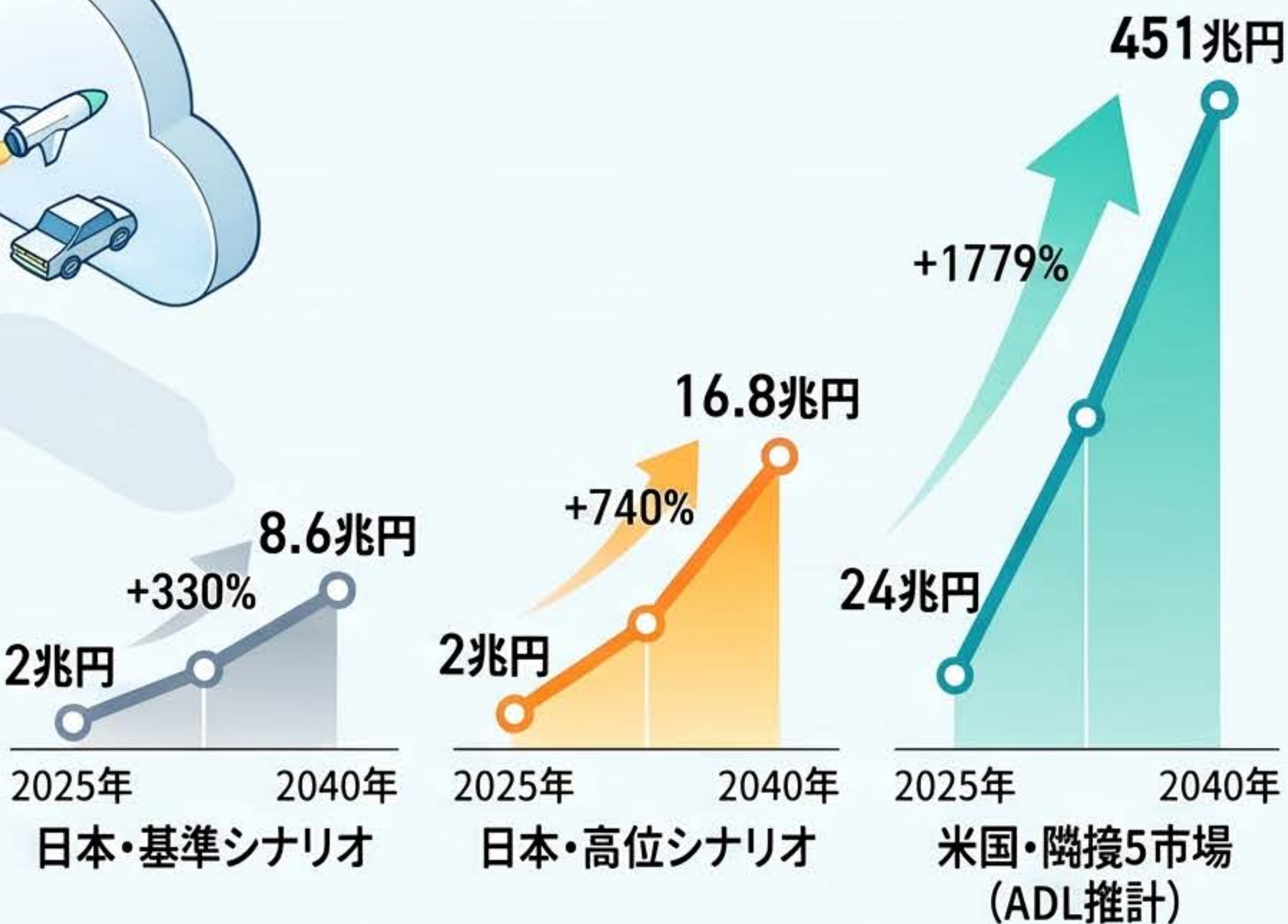
日本の防衛デュアルユース：研究から「実装・産業化」への転換

成功を導く「実装」の4段階サイクル

Mission → Transition (需要提示と橋渡し)
運用現場の課題を起点に、短期・複数の試作と厳格な実環境試験で移行先を絞り込む。

Scale → Spillover (量産と民生還流)
複数年の反復調達で量産投資を促し、共通コア技術を巨大な民間市場へ再展開する。

市場ポテンシャル (隣接5市場を含む)

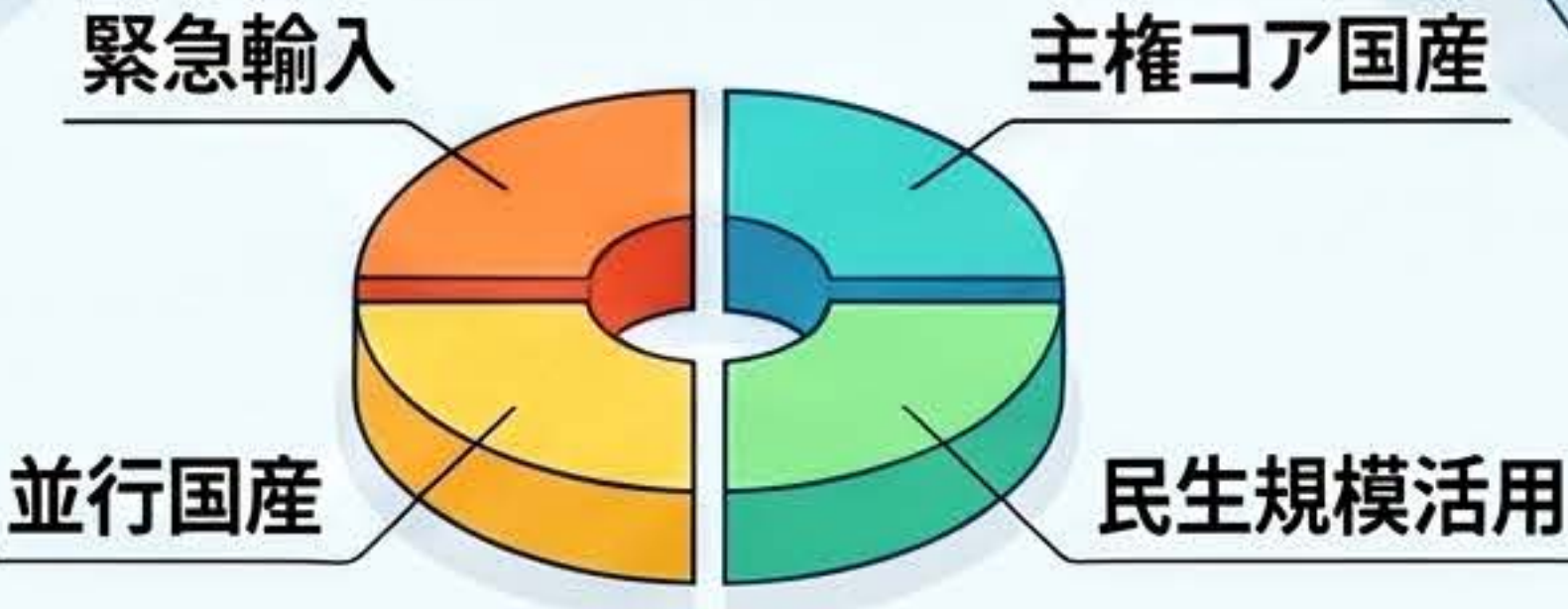


KEY FINDING:
「試作の墓場」を回避する契約改革
後払い慣行を改め、前払・段階払やファストパス調達を導入して企業の賞金繰りを支援する。

日本の勝機: 5つの最優先技術領域



自律・フィジカルAIとロボティクス
日本の強みである精密加工や車両技術を、通信拒否環境下での任務継続能力に転換する。



4つの投資ポートフォリオ管理
緊急輸入、主権コア国産、並行国産、民生規模活用の4類型で、技術の重要度に応じた資源配分を行う。



ソブリンクラウドと海洋・宇宙通信
依存リスクを排除した独自のデータ基盤を構築し、地理的僵位性を活かした海中監視網を強化する。